

としよだより



平成28年12月
No. 5.



兵庫県立中央小学校図書館
図書館司書の和田幹子です。
読んでよかった本をおしえてください。

今月のおすすめ本

- ◎ とんだ、とべた、また とべた！ 森山 京
- ◎ なぞなぞのみせ 石津 ちひろ
- ◎ おてつだいの絵本 辰巳 渚
- ◎ うそなき 内田 麟太郎
- ◎ 狂言 茂山茶蔭、茂山逸平 私達がお案内します くまざわ あかね

～お知らせ～

12月14日（水）のロング休憩時間
10:30 ～ 10:40 に本を読みます。

図書室（多目的室）に来てくださいね。



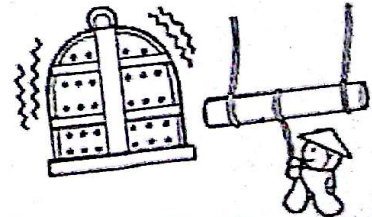
移動図書館ひまわり号のお知らせ

来年 1月12日（木）

10:20 ～ 15:30

ところで 返し忘れていた本はありませんか。

もう一度よくみてください。よろしくお願ひします。



新しい本のコーナーを設けています。荷があるか見に来てください。

中央小学校のみなさんは「狂言」に触れる機会がありましたね。いつの時代も、「乗って元気に」というのは変わらないものですね。もちろん実際に見るのが一番いいものですが、教室で見せてもらった絵本以外にも、図書にはいろいろな「狂言」の本、絵本がありますよ。

さて、もうすぐ冬休みですね。冬休みに読む本はもう決まりましたか。お正月の「お年玉」で買おうと思っている人もいます。今回はその「お年玉」の由来をお話しします。

「お年玉」とは、もともとは年神様からさずかる「新しい年のたましい」から来ているといわれています。この習慣は「子どもが元気に誓つように」という願いから始まりました。お年玉というと、お金をもらうことが多いですが、最初のころのお年玉は、おもちでした。誓は、年神様という神様が人間に年をとらせてくれるというように信じられていました。一年のさいごの日のおおみそかに、年神様がやってきて、ひとりにひとつずつ、年をくばります。そこで、新しい年になると、年神様におそなえしていたおもちをさけて、年下の人や子どもたちに「年玉」として分けあたえることから始まったそうです。年神様のたましいが誓ったおもちを食べることで、一年間元気にいられると信じられていました。お年玉の中身は、誓とちがっても、年下の人や子どもにくばるところは変わりませんね。

クイズ（答えは、としよだよりの荷処かに!? もちろん図書室にもあります。）

ニラブの こおりは

じかんが たてば しぜんに とける

でも これは

じかんが たっても なかなか とけない

だいじなのは ひらめきと おもいつき

さて いったい なあに?

